

令和 6 年度公立幼稚園の入園申込を踏まえた今後の対応について

1 これまでの経緯

(1) 公立幼稚園の再編基準

公立幼稚園の再編基準は、『いわき市教育・保育施設（公立）の整備のあり方』に伴う実施方針について（平成 30 年 9 月）（以下「実施方針」という。）において、次のとおりとされている。

①	2 年連続児童数が 10 人以下	→	早期に再編
②	2 年連続児童数が 19 人以下	→	3 年までに再編
③	2 年連続児童数が 50%未満	→	再編対象園の明示
※単年度で 10 人以下の場合でも状況に応じ再編を考慮			

(2) 再編の経過

公立幼稚園は、これまで、在園児童数の減少や地域における保育需要の動向等を踏まえ、再編を行っている。

年 月	幼稚園名	幼稚園数
平成 30 年 3 月	内町幼稚園廃止	18→17
〃 31 年 3 月	湯本第二幼稚園廃止	17→16
令和 2 年 3 月	四倉第三幼稚園廃止	16→15
〃 3 年 3 月	錦幼稚園、四倉第四幼稚園廃止	15→13
〃 4 年 3 月	湯本第一幼稚園、湯本第三幼稚園廃止	13→11
〃 6 年 3 月	宮幼稚園廃止	11→10

(3) 公立幼稚園の児童数の推移

3 歳児の入園申込児童数は、少子化や共働き世帯の増加などにより、減少基調にはあったが、令和 2 年度以降、幼児教育の無償化の影響等により急激に減少し、令和 6 年度は過去 6 年間で最少となっている。

（※R 1～5 は各年 5 月 1 日時点、R 6 は令和 5 年 4 月入園児見込み、）

区分	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 6-R 1	
							増減数	増減率
園児数	621	528	443	369	330	258	▲363	▲58.5%
前年度増減	▲2	▲93	▲85	▲74	▲39	▲72	-	-

2 各園の状況

太枠の3園については、入園募集の際に、「再編対象園」であり、令和6年度以降は新たな募集を見送ることがあることなどを明記している。

(単位：人・各年5月1日現在)

幼稚園名	定員	R 3	R 4	R 5	R 6 見込み (4月1日見込値)			
					計	3歳児	4歳児	5歳児
◎すずかけ	80	39	40	28	18	4	7	7
◎西小名浜	80	64	57	57	41	8	15	18
◎玉川	160	78	65	55	50	14	16	20
江名	80	23	21	16	10	3	4	3
◎汐見が丘	80	28	17	17	11	3	6	2
磐崎	80	34	28	30	29	7	11	11
◎藤原	80	44	48	45	37	9	11	17
◎高坂	80	29	30	27	17	4	5	8
◎四倉第一	80	35	34	34	26	4	8	14
四倉第二	80	31	20	18	19	4	5	10

※ ◎は基幹的幼稚園（7箇所）

3 今後の対応について

公立幼稚園の児童数は、少子化や幼児教育・保育の無償化の影響などにより、減少している。

このため、再編対象園を希望された保護者に対し、今回の入園児募集の結果を踏まえた実情を説明するなどの対応を行っている。

また、再編の実施に当たっては、在園児の状況を考慮した上で、保護者や地域の方々等に丁寧に説明を行い、理解を得ながら適切に対応する。